

特定非営利活動法人 WE 21 ジャパン大和
2021 年度 活動報告

活動方針	活動点検・評価
<p>1. 民際支援事業 アジアの人々の生活向上と自立のための活動を支援・連携していきます。</p> <p>1) 支援事業をすすめるため、必要な講座へ参加し理解を深めます。</p> <p>2) アジアの女性たちの生活向上に寄与することを目的として、フェアトレード品を継続して扱います。</p> <p>3) 海外NGO、国内NGOのプロジェクト支援をおこないます。 ・必要に応じ緊急支援に取り組みます。</p> <p>4) 10月の世界貧困撲滅デーに向けた取り組みをします。</p> <p>5) 3.11を忘れないキャンペーンを実施して東日本大震災の被災者に思い</p>	<p>1. 民際支援事業</p> <p>1) 「森育ちのしょうがパウダーの生産者をつながるフィリピンオンラインスタディツアー」に参加し、生産地の状況やしょうがパウダーの生産状況がよくわかりました。参加者：5人</p> <p>2) ネパリのコーヒー、フィリピンのジンジャーティーなどのフェアトレード品を継続して取り扱いました。</p> <p>3) ・2021年度の支援総額は528,000円でした。(詳細は6ページ助成報告の通りです) ・福島県の「たらちね」から緊急支援の要請があったので、3万円の支援を実施しました。 海洋調査と健康手帳の作成補助 ・ロシアに侵攻されたウクライナの子どもたちへの緊急支援5万円をセイブ・ザ・チルドレンを通じて寄付しました。 ・WEショップちがさき店へ火災被害に対しての3万円の支援カンパをしました。</p> <p>4) 10月1日より「貧困なくそうキャンペーン」を実施し、店内掲示をするとともに寄付を募りました。事前にボランティアさん向けのWE講座として「みんなで布チョッキン」* (詳細は欄外に) のDVDを見て「特定非営利活動法人難民を考える会(以下CYRという)」への理解を深めると共に「布チョッキン」を体験しました。 CYRには合計37,000円の寄付をしました。 内訳：店頭募金 6,110円、10/16世界食糧デーの売り上げ 20,990円、「みんなで布チョッキン」人形2体、ボール大10個、小6個と寄付金10,000円</p> <p>5) 「3.11をわすれないキャンペーン」では掲示物を展示し、来店者にアピールすると共に募金を実施しま</p>

<p>を寄せると共に、店頭で現状のアピールを続けていきます。</p>	<p>した。当日のショップの売り上げと募金を合わせた2万6千円を含め、合計7万6千円を「いわき市民放射能市民測定室たらちね」に寄付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北支援の一環として、被災地宮城県の高産物を年間通して取り扱いました。好評で、リピーターも多く、集客につながりました。
<p>2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業</p> <p>1) チャリティーショップ「WEショップやまと」の運営をします。ショップスタッフを探しながらボランティアと連携し、ショップ運営に責任をもちます。</p> <p>2) リメイクチームを中心にリメイク文化を広げます。</p> <p>3) 廃油の回収に取り組みます。</p> <p>4) 同じ目的をもって地域で活動している他のローカル組織と連携し、リユース・リサイクル事業をすすめていきます。</p> <p>5) プリン石けん作りを通して、環境に優しい暮らしを提案していきます。</p> <p>6) 照明設備の交換（LED化）について考えていきます。</p>	<p>2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業</p> <p>1) 6月の運営委員会で年間計画をたてて、ショップ運営を行っていました。昨年度より時短営業をしていましたが6月より通常営業（10：30～16：30）に戻りました。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策（マスクの着用、手指やドアノブの消毒、レジ前の覆いの設置等し、定期的に換気を行う、扇風機の設置）を実施してショップ運営をしました。チラシを配布してのセールは実施せずに、ゲリラ的にセールを実施しました。衣類については、常設の半額コーナーを設け、食器等のワゴンセールは不定期で実施しました。</p> <p>2) 3月末にリメイクコーナーを設置し、集客につながりました。ゆかた等で作ったパンツが好評でした。</p> <p>3) 廃食油を毎月回収し、年間回収量の合計は290kgになりました。</p> <p>4) 全国からのWE21 ジャパンへの寄付品のうち、年間を通じて計17箱の提供を受けました。また、他ショップへ14箱の寄付を行いました。</p> <p>5) 昨年度作成のものを、引き続き販売するとともに、7/12にプリン石けんを作りました。</p> <p>6) 検討の結果、交換はしないことになりました。</p> <p>7) 12月の設立記念日の週に来店者に記念の租品をお渡しし、喜ばれました。</p>

<p>3. 広報活動</p> <p>WE21 ジャパン大和の活動を広げ、理解を深めるために情報の受発信に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙「WEひろば」の発行 3回 各 100枚（初回は200枚） ・ ショップちらしの発行 拡大ちらしやフェア・セールチラシを感染状況を見ながら配布します。 ・ ポスター、支援ニュース、パンフレット等を活用した店内掲示を充実させます。 ・ 会員へ「WEひろば」を送ります。（3回/年） ・ A看板を活用します。 ・ ホームページを活用し情報を発信していきます。 	<p>3. 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「WEひろば」1回目（150枚）を7月に、12月に20周年特別号（500部）を、2月に3回目（100部）を発行しました。 ・ チラシの配布については、店内が密になることを避けるために控え、来店者に配布するにとどめました。 ・ 支援報告を書き替えて掲示しました。また、キャンペーン時のお知らせ表示の字を大きくして掲示しました。 ・ 会員へ「WEひろば」を7月と2月に、「WEひろば特別号」を12月に、発送しました。「めぐりめぐる」を12月に発送しました。 ・ A看板は季節ごとや行事のお知らせ等に活用していました。 ・ 新しい情報を発信しました。
<p>4. 組織活動</p> <p>1) 運営委員会</p> <p>① 事業活動の執行に責任を持ちます。</p> <p>② WE21 ジャパン大和の運動を地域に広げ、会員の拡大に努めます。 目標：45人</p> <p>③ WE21 ジャパン及びショップ運営の充実を図り、運動を広げるためにボランティアの参加拡大をすすめます。</p> <p>2) WE講座の開催</p> <p>WE21 ジャパン大和のあり方を学</p>	<p>4. 組織活動</p> <p>1) 運営委員会</p> <p>① ・ 総会は書面での決議を中心に少人数で開催し、全議案が可決されました。 ・ 年間活動計画をたて、それに沿って活動を進めました。 ・ 前年度に引き続き時短営業を実施していましたが、6月1日より通常営業（10：30～16：30）を再開することが出来ました。</p> <p>② 会員の拡大 2021年度会員数は44人でした。 また、会費納入者は42人でした。</p> <p>③ ボランティアの拡大 ボランティアさんの紹介により、ボランティアが1人増えました。</p> <p>2) WE講座の開催</p> <p>10/5に「みんなで布チョッキン」のDVDを鑑賞</p>

<p>び、問題意識の向上をめざします。</p> <p>3) ボランティアミーティング ボランティア・ショップスタッフ・運営委員が交流し、ショップ運営や支援活動等について理解を深められるよう定例化して開催します。</p> <p>4) 20周年を記念して、広報紙の特別号を発行します。</p>	<p>し、現地の状況を知ると共に、実際に現地に送る布を切る作業をしました。参加者 11 人</p> <p>3) ボランティアミーティングの開催 ・5/15 (土) 総会後に第 1 回を開催しました。参加者 17 人。 通常営業再開に向けて、ショップの状況やコロナ感染症対策についての情報を共有しました。 第 2 回目は 10/5 (火) 開催。参加者 11 人。 ・暑気払いの代わりに買い物券付きの残暑見舞いを、新年の懇親会の代わりにお買い物券付きの年賀状を発送しました。多くの利用がありました。</p> <p>4) 20周年記念特別号の発行 ・20周年記念「WEひろば特別号」の編集会議を実施し、12月末に完成しました。500部印刷し、会員・お客様・県央の各ショップやコミオプ参加団体等に配布しました。 編集会議 6/26 (土)、7/17 (土)、8/21 (土) 9/25 (土)、10/9 (土)、10/30 (土) ・新年早々、NPO法人W. o 想さんからお祝いのフラワーアレンジメントをいただきました。 ・12月に20周年記念感謝半額セールを実施しました。</p>
<p>5. 平和な社会の実現に向けての活動 さまざまな情勢を捉えながら、平和にむけた運動に取り組みます。</p>	<p>5. 平和な社会の実現に向けての活動 ・厚木基地の情報共有を実施していくことを運営委員会で確認し、折に触れて共有しました。 ・ロシアによるウクライナ侵攻に反対の意思を示すために店内に侵攻反対のポスターを掲げました。 ・平和政策チーム提案の講演会に参加しました。 講演者の大学3年の高橋悠太さんは高校生の時から核問題に取り組み、政府等に核兵器禁止条約締結に向けての提言をしているとのことでした。</p>
<p>6. 他の市民団体等との連携 活動の拡大をはかるため他団体との交流に努めます。 ・コミュニティオプティマム福祉地域協議会大和に参加します。 (市民まつりへの参加等)</p>	<p>6. 他の市民団体等との連携 ・コミオプの連絡会に参加しています。 他の団体と共に大和市に福祉政策提案をしましたが、廃油回収拠点の増設は難しいとの回答でした。 コミオプ参加団体から提案のあったフードドライ</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや講座へ参加します。 ・ 中高校生のボランティアを受け入れます。 ・ 地域の朝市に参加します。 	<p>ブに3月から参加しました。</p> <p>市民まつりは中止となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントもコロナ感染症のため、中止となりました。 ・ 12月から1月にかけて、高校生のボランティアの申し込みがあり、受け入れました。 ・ 神奈川ワーカーズコレクティブ協会を通じて、横浜市青少年相談センターより就労支援の実習生の受け入れ要請があり、受け入れました。 ・ 桜ヶ丘駅東口ひろばの朝市が休止され、参加できませんでした。
<p>7. 企業や事業者との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社協の赤い羽根共同募金活動に参加します。 2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーンに引き続き参加します。 	<p>7. 企業や事業者との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 今年度の募金活動は10/20～10/26まで、店頭で募金箱を置いて実施しました。募金額は6,193円でした。募金を届けた折に、寄付品をいただきました。また、年末に約100個のトイレットペーパーの寄付を、歳末たすけあい基金からは5万円の寄付を受けました。 2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーン昨年度分14,600円を寄付金として頂きました。2022年度の参加申し込みをしました。

* 「みんなで布チョッキン」とは

特定非営利活動法人幼い難民を考える会（略称CYR）を通じて、長く内戦が続いたカンボジアの子どもたちにボールと人形を送る活動です。

用意した布を型どおりに切って、寄付金をつけてCYRを通じてカンボジアに送ります。カンボジアの女性たちがその布を縫って、ボールや人形に仕上げます。こうした活動は、子どもたちに不足している遊具を届けると共に、カンボジアの女性たちの収入を得る機会をつくっています。